

278) 悲しみよこんにちわ

初めての愛だった 倖せの日々だった
永遠の約束が 悲しみに変わってく
愛の日は短くて それぞれの道を行く
あなたのこと忘れない 初めての人だから
Bonjour tristess 悲しみよこんにちわ

いくつもの思い出が ^{かばん}鞆には詰まってる
駅へ行く坂道を 雨の中歩き出す
水たまりよけるたび 悲しみがましてくる
川沿いのこの街で 出逢った日思い出す
Bonjour tristess 悲しみよこんにちわ

愛し合うふたりには 貧しさもたえられた
忍びよる別れには 気づかずに歳^{とき}月がすぎ
愛よりも安らぎを いつの間に求めてた
Bonjour tristess 悲しみよこんにちわ

倖せをすり減らし ^{すきまかせ}隙間風吹き抜けた
運命のいたずらを 悔やんではないけど
5年後に出逢えたら 人生は変わってた
倖せの結び目を ^{ほど}解かずにすんだはず
Bonjour tristess 悲しみよこんにちわ